

# 地方創生加速化交付金・推進交付金事業

## 検証資料

### 内容

評価基準・・ 1

#### 地方創生加速化交付金・推進交付金事業検証シート

##### 地方創生加速化交付金事業

外国人旅行者倍増に向けた誘致強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

##### 地方創生推進交付金事業

地域資源を活用した雇用創出・定住促進プロジェクト・・・・・・・・ 5

(関連事業)

中小事業者雇用確保支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

# 南木曾町

## 評価基準

評価シートの評価（A B C D）は下記の基準を目安に内部評価を行っています。

項目		評価の視点
妥当性	行政が関与すべきか	この事業を町が行わなければならないのか
		税金を投入して行うべき事業か
	住民ニーズは高いか	住民に求められている事業であるか
		社会情勢が変化し、事業の必要性が低下していないか
	目的・対象は妥当か	事業の対象・目的は適切か
		事業の対象・目的に改善の余地がないか
有効性	事業の効果があるか	事業の目的が効果的に達成されているか
		廃止・休止した場合、住民生活に多大な影響があるか
	成果向上の可能性	成果を向上させる余地（必要）があるか
		成果向上が期待できない原因は何か
	長期計画への貢献度	事務事業の目的が、町の政策体系に結びついているか
		政策目標実現のため、確実に貢献しているか
効率性	手段は最適か	目的達成のために、他に効率的な方法がないか
		類似事業との統廃合の余地はないか
	低コスト・効率化	成果を下げずに、事業費を削減できないか
		事業費を削減した場合の影響の有無と問題解決策はどうか
	受益者負担は適切か	受益者に対して、適切な負担金を徴収しているか
		住民間に不公平感がないか

### ① 項目別評価 下記を目安に評価しています。

項目		A	B	C	D
妥当性	行政が関与すべきか	積極的に関与すべき	関与すべき	本来関与すべきではない	関与すべきではない
	住民ニーズは高いか	非常に求められている	求められている	稀に求められる	求められたことはない
	目的・対象は妥当か	適切に定められている	概ね適切である	過剰もしくは不足する部分がある	不適切である
有効性	事業の効果があるか	非常に効果的	概ね効果的	効果的でない部分もある	大半が有効でない
	成果向上の可能性	現状で必要十分である	さらに向上の余地がある	向上させるのは難しい	向上がまったく見込めない
	長期計画への貢献度	大変効果的	貢献している	効果があるかわからない	効果を見込めない
効率性	手段は適切か	最適の手法である	検討の余地がある	検討する必要がある	手法に問題がある
	低コスト・効率化	最も効率的である	概ね効率的である	改善できる余地がある	もっと効率的な方法がある
	受益者負担は適切か	適切である	概ね適切である	やや適切でない	不適切

② **総合評価** 項目別の評価を勘案し、下記を目安に総合評価をしています。

A : 28年度どおりの実施が適当

B : 事業の進め方等に改善が必要

C : 事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要

D : 事業の統合、休・廃止の検討が必要

## 地方創生加速化・推進交付金事業評価シート

### 1 基本事項

事業名	外国人旅行者倍増に向けた誘致強化事業（加速化交付金）
地方創生 総合戦略	基本戦略2 子育て世代が戻ってこられる雇用の創出 施策2-1 観光立町の推進
事業内容・実績	
<p>■直営    ■委託</p> <p>長野県、市町村及び民間観光事業者が連携して、県内に点在する魅力的な観光地を、面的に結びつけ、外国人が長く滞在したいと思うようなツアーを開発・提案し、これまで以上に海外に向けて積極的にPRすることで、海外からの誘客を大幅に強化するとともに、訪れた外国人が快適に旅行できる受入環境を整備する。</p> <p>南木曾町では新たな魅力を発掘するため新たなコンテンツ作りやインバウンド対応のための観光案内所を設置し、新たに雇用する臨時職員により案内業務及び観光事業の企画立案業務を実施した。</p> <p><b>○外国人向けのコンテンツ開発</b></p> <p>①自宅でのパソコン閲覧より、外出先（モバイル・タブレット）での閲覧数をはるかに多いため、外国語版ホームページの再構築。外国人旅行者が見やすいWEBコンテンツの見直しを行い、観光客数の拡大と滞在時間の延長するような魅力のある新しいコンテンツ作りに取り組む。 ・観光サイトの翻訳版構築（英語）、・スマートフォン対応ページ作成、・多言語化サイトマップ作成 2,830千円</p> <p>②地域の観光資源となりえる場所・風景など、日ごろ暮らしている住民ではなかなか発掘・発見が難しい。第三者の目で町内を歩いていただき、新たなコンテンツの提案・マッチングの提案、その魅力を最大限広く伝えるため、インターネットを活用して情報発信を行う。 ・地域資源発掘業務、・商品化に向けたマッチング、・情報発信事業 999千円</p> <p><b>○観光案内拡大</b></p> <p>南木曾町には、年間およそ60万人の観光客が訪れており、鉄道利用による旅行者も多い。近年は特に外国人旅行者が急増しており、観光案内が十分にできていない状況にある。南木曾駅の構内に新たに観光案内所を設置することにより、案内業務の充実を図ると共に、町の玄関口である南木曾駅のイメージアップを図る。また、観光イベントの企画立案や新たな旅行商品造成（プランニング）など、誘客促進に向けた取り組みを強化する。</p> <p>観光案内所設置 案内業務 8:30~17:30まで 閉鎖日：年末年始 臨時職員4名雇用 ※窓口1名体制のローテーション</p> <p>観光事業企画立案 なぎそミツバツツ祭り・工芸街道祭り等各種イベント等の企画立案</p>	

事業費 (単位：千円)	事業費		7,467	千円
	財 源 内 訳	国補助	5,829	千円
		県補助		
		使用料		
		一般財源	1,638	千円

## 2 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	指標値 (H31)	H28
外国人観光客数	14,000 人	21,300 件
事業の課題	事業終了が年度末となってしまったため、コンテンツをより深く検証することができなかったため、次年度も継続して検証しより良いものにしたい。	

## 3 評価 (A B C D)

項目		項目別	総合	評価説明
妥当性	行政が関与すべきか	A	A	<p>インバウンド対策としてスマートフォン・タブレット等から見やすいサイトへと変更したことにより、より情報を得やすくなる。新たな魅力あふれる旅行コンテンツの開発により、来訪者の増が期待できる。</p> <p>案内所の位置が駅構内という事もあり、以前に比べ利用者は増加している。駅を利用する外国人も 21,000 人を超え、(H27 : 18,963 人) 順調に推移している。</p> <p>企画立案の面では、イベント系に絞って企画立案を実施したが、来年度はデスティネーションキャンペーンを控えており、事務量も増える見込み。</p>
	住民ニーズは高いか	A		
	目的・対象は妥当か	A		
有効性	事業の効果があるか	A	A	
	成果向上の可能性	A		
	長期計画への貢献度	A		
効率性	手段は最適か	A	A	
	低コスト・効率化	A		
	受益者負担は適正か	A		

## 4 今後の事業の方向性

今後の方向				事業の方向性に関する考え
拡充 (増)		地域住民	○	<p>WEB コンテンツは、利用者からの声により継続してメンテナンスを行う。</p> <p>旅行コンテンツは、民間の協力が重要であるので、より良いものとしてできるよう検証検討を行いたい。</p> <p>案内所利用者、外国人旅行者は順調に増加傾向で推移しているため、今後も継続。協会事務局業務については、平成 29 年度に方向性を決定する</p>
		各種団体		
継続 (現行)	○	町	○	
		広域		
縮小 (減)		民間	○	
		その他		
廃止				

課	産業観光課	係	商工観光
---	-------	---	------

# 地方創生加速化・推進交付金事業評価シート

## 1 基本事項

事業名	地域資源を活用した雇用創出・定住促進プロジェクト（地方創生推進交付金）
地方創生 総合戦略	基本戦略2 子育て世代が戻ってこられる雇用の創出 施策2-2 林業振興の促進 基本戦略3 子育て世代のU・Iターンの拡大 施策3-1 Uターンしたくなるまちづくり

### 事業内容・実績

直営 委託

町の地域資源の①歴史のある南木曽ろくろ②未活用の森林資源③妻籠宿・中山道などのインバウンド資源を活用した3つの産業振興・市場拡大の取組を並行して実施することで、町特有の魅力ある雇用を創出し、地元学生やU・Iターン者のしごとの選択肢を拡大させ定住・移住促進につなげる。本プロジェクトは平成28年度から3年間で推進することとしており、28年度は事業の本格実施のための準備期間として、搬出間伐のための整備計画基礎調査と雇用と結びつけた移住定住促進専用WEBサイトの創設に取り組んだ。

#### ○搬出間伐のための整備計画基礎調査

- ・（社）長野県林業コンサルタント協会に調査を委託。
- ・町内民有林の森林資源量調査、整備可能山林調査、路網整備の可能性調査を実施し、搬出間伐への転換に向けた準備を行った。

#### ○雇用と結びつけた移住定住促進専用WEBサイト

- ・南木曽町公式Webサイトのトップページに、移住定住情報の掲載ページへのアクセスをしやすいように、以前に比べて目を引くバナーを中央に設置。
- ・移住定住希望者向けの情報を、必要としている人に分かりやすく発信するために、改めて移住定住特設ページを作成。
- ・南木曽町への雇用促進を図るため、あわせて求人情報の専用ページも作成。  
（求人情報サイト、町職員募集ページ、南木曽町伝統工芸の仕事紹介ページ へのリンク）



事業費 (単位：千円)	事業費		14,754 千円
	財 源 内 訳	国補助	7,377 千円
		県補助	
		使用料	
		一般財源	

## 2 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	指標値 (H30 年度)	H28 年度末見込
南木曽ろくろ新製品売上額	300 万円	-
町有林・民有林の間伐実施面積	180 ha (H28~H30 累計)	23.58ha
外国人観光客数 (一石柘通過人数)	18,800 人	21,300 人
事業の課題	<p><b>○林業関係</b>            保育間伐 (切捨) から搬出間伐に移行することにより整備費用が増加する。搬出コストを抑え、材価の見込める整備のしやすい森林整備で経験と技術を向上させることにより、今後の整備の効率を上げる必要がある。また、高効率化には高性能林業機械と作業道の整備が不可欠である。整備を継続していくためには実現性のある長期整備計画を立案する必要がある。</p> <p><b>○WEB サイト関係</b>            移住定住に関する情報や求人情報を常に最新の情報を更新する必要がある。</p>	

## 3 評価 (A B C D)

項目		項目別	総合	評価説明
妥当性	行政が関与すべきか	A	A	28 年度はプロジェクトの準備期間であるため KPI の向上にはあまり寄与していない。しかし、林業関係では 6,000ha にも及ぶ対象森林の基礎データを単年度で整備を完了させることができ、今後の計画が効果的かつ低コストで実施することが可能になった。また、ネット通信による情報収集が主流となってきている現状において、地域活性化を図るための情報発信の手段として、移住定住専用の WEB サイトを整備できたことは非常に有意義であると言える。
	住民ニーズは高いか	A		
	目的・対象は妥当か	A		
有効性	事業の効果があるか	A	A	
	成果向上の可能性	A		
	長期計画への貢献度	A		
効率性	手段は最適か	A	A	
	低コスト・効率化	A		
	受益者負担は適正か	A		

4 今後の事業の方向性

今後の方向			事業の方向性に関する考え	
拡充 (増)	○	地域住民	<p>29年度からは事業を本格的に実施することとして、林業振興だけでなく、南木曽ろくろ、インバウンド資源を活用した観光振興のための取組みを推進する。</p> <p>具体的には、南木曽ろくろ振興として外部専門家を招聘したブランド化のための取組、戦略的なマーケティングやプロモーション強化を行う。</p> <p>林業振興として、新たな林業システムの構築を目指し、活用方法を研究するための研究会を設置するなど需要対策を進める。</p> <p>観光振興として、インバウンド推進会議を設置し、インバウンド推進体制を構築するとともに観光事業者がおもてなし向上や新規コンテンツ開発をするための研修会の開催等を行う。</p> <p>さらに、移住定住・就職相談会や学生と業界とのマッチング、地域おこし協力隊制度を活用した人材の確保等を並行して実施することで更なる事業効果の向上を図る。</p>	
		各種団体		○
継続 (現行)		町		○
		広域		
縮小 (減)		民間		○
		その他		
廃止				

課	もっと元気に戦略室	係	元気なまちづくり係
課	産業観光課	係	農林係



## 地方創生加速化・推進交付金事業評価シート

### 1 基本事項

事業名	中小事業者雇用確保支援事業
地方創生 総合戦略	基本戦略2 子育て世代が戻ってこられる雇用の創出 施策2-3 地域リーダーの育成 1 地域に必要な人材の確保
事業内容・実績	
<p>■直営    □委託</p> <p>○事業の目的：町内中小事業者は雇用の確保が事業継続にあたって大きな課題となっている。都市部におけるUJIターン希望者を対象にした体験会を開催することにより、南木曾町を実際に見ていただき、移住のイメージを持っていただきつつ、町内事業所への就労について働きかけを行い、雇用の確保と定住者の増加を図る。</p> <p>○事業概要：町内中小企業者に事業所説明会への可否についての希望を取ると共に、町内出身者を中心にUJIターンを希望する参加者を募り、南木曾町において事業所説明会(事業所へ訪問する事業)を開催する。</p> <p>○平成28年12月1日 町内事業者に対し雇用に関する意向調査を実施 調査内容：従業員募集の意向の有無、事業参加の有無、希望会場、募集内容、住宅確保の可否</p> <p>○平成28年12月26日 南木曾町産業活性化検討委員会設置規約に基づく商工観光部会を開催 中小事業者雇用確保支援事業の概要説明。本年度は、昨年の反省を踏まえ内容を変更「なぎそまちをみてみよう体験会」とし、 ①南木曾町に直接来ていただき、環境などを見ていただく、②参加者が希望する事業所を訪問し、採用担当者と直接お話しする機会を設ける、③先輩移住者との懇談会を設定する という内容とした。スケジュール等について説明。承認を得る。</p> <p>○平成28年12月28日～募集開始 実施事業名称：なぎそまちをみてみよう 体験会 募集媒体：南木曾町ホームページ、楽園信州ホームページ、facebook、長野県名古屋事務所、八十二銀行名古屋支店、新聞各紙 募集対象：中京圏居住者。2日間参加でき、原則、移住を検討しており、中学生以下の子どもを持つ世帯 <b>5組</b> 参加費：1人2,000円(大人・子どもの区分なし) 開催日：平成29年2月11日(土)～12日(日) 夕食朝食付 日程：11日 12:30～受付：南木曾会館 13:00～15:00 概要説明、町内各種施策説明 15:00～17:30 町内施設等見学(住宅、観光施設、ろくろ体験、アイスキャンドル祭り) 18:30～ 先輩移住者との懇談会 12日 9:00～ 企業訪問・面談 9:00～10:00 施設見学 事業所訪問をしない家族 10:20～ 終わりの会 アンケートの記入など 参加者：1家族 3名</p> <p>○告知事業：新聞社へ情報提供：中京圏・長野県の新聞社、テレビ局などメディアへのプレスリリース 新聞社へ訪問：平成29年1月19日 中日新聞、読売新聞、朝日新聞 告知イベント開催：平成29年1月20日 名古屋市中区栄地下街 クリスタル広場にて ・広告：産経新聞(東海北陸版) 1月12日 1面広告 ・記事：中日スポーツ 1月19日、読売新聞 1月21日、中日新聞 1月21、23日、朝日新聞 1月25日</p>	

事業費 (単位：千円)	事業費		471
	財 源 内 訳	国補助	0
		県補助	0
		使用料	0
		一般財源	471

## 2 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	指標値 (H28)	H28 未見込
中小企業者雇用確保支援事業による新規移住者数	1	0
事業の課題	HP、Facebook 閲覧者は多いが、申し込みにつながらない。 セミナーとのタイアップを検討。	

## 3 評価 (A B C D)

項目		項目別	総合	評価説明
妥当性	行政が関与すべきか	A	A	事業継続にあたって雇用の確保という大きな課題に対し、都市部における UJI ターン希望者を対象とした事業所説明会を開催することは、雇用の確保と定住者の増加を狙う一手段として有効であり、先行型として取り組む事業である。賛同した町内企業も雇用の重要性を認識している。 UJI ターン希望者への周知方法として、セミナーとのタイアップを検討する必要がある。
	住民ニーズは高いか	A		
	目的・対象は妥当か	A		
有効性	事業の効果があるか	B	B	
	成果向上の可能性	B		
	長期計画への貢献度	A		
効率性	手段は最適か	B	B	
	低コスト・効率化	B		
	受益者負担は適正か	A		

## 4 今後の事業の方向性

今後の方向				事業の方向性に関する考え
拡充 (増)		地域住民	○	U J I ターン希望者を集める方法を再考する必要があるため、イベント情報の周知方法として、戦略室が参加するセミナーとのタイアップを検討。
		各種団体		
継続 (現行)	○	町	○	
		広域		
縮小 (減)		民間	○	
		その他		
廃止				

課	産業観光	係	商工観光
---	------	---	------

